

各地域のシーズン特徴

地域	北海道	東北	関東	中部
シーズン本格化時期	11月中旬～	12月上旬～	12月下旬～	12月中旬～
降雪の量	平年より少ない	平年より少ない	平年より少ない	平年より少ない
降雪の特徴	11月中旬は、寒気の影響で雪の日が増える予想です。12月中旬～1月にかけては、冬型の気圧配置となるため、毎日が新雪とはならないものの、まとまった雪が降るタイミングがあり、お出かけの時期としてはオススメです。日によっては、暴風雪になることもあり、ゲレンデでは注意が必要です。2月～3月中旬までは、寒の戻りがあり、ゲレンデに雪が残りシーズンを満喫できます。3月下旬からは次第に暖かくなり、徐々に雪解けが進む予想です。	11月は、降雪があっても溶けるのが早く、ゲレンデでは、平年に比べて降雪量が少ない見込みです。12月中旬～1月は、毎日のように降雪が期待できる天候とはならないものの、まとまった雪が降るタイミングがあり、降雪状況を確認してお出かけすると、雪質の良い状態でのスキー・スノーボードが楽しめます。2月～3月中旬までは、寒の戻りもあり、ゲレンデには十分に雪が残ります。3月下旬になると次第に春めいてきて、徐々に雪解けが進みそうです。	12月以降は2週間程度の繰り返しで、まとまった雪が降り、その都度、新雪が楽しめます。しかし、ゲレンデによっては、雪の量が少なくなるところがある見込みです。1月に入ると、太平洋側を中心に降雪が期待でき、お出かけの時期としてはねらい目です。2月～3月中旬までは、寒の戻りで、ゲレンデに雪は残るものの、3月下旬になると、気温が高くなり、雪解けが進みそうです。	シーズンを通して、2週間程度の繰り返しで、まとまった雪が降る見込みです。毎日のように降雪が期待できる天候ではないため、平年より降雪量は少なくなるものの、タイミングを見計らってお出かけすると、雪質の良い状態でのスキー・スノーボードが楽しめます。3月下旬からは、次第に暖かくなり、雪は次第に解けていくため、早めに計画を立て、シーズン前半のお出かけがオススメです。

地域	近畿・中国・四国・九州
シーズン本格化時期	1月上旬
降雪の量	平年より少ない
降雪の特徴	12月以降は数週間程度の繰り返しで、まとまった雪が降り、その都度、新雪が楽しめます。タイミングを見計らってお出かけをすると、新雪のグットコンディションでのスキー・スノーボードができそうです。降雪量は、シーズンを通して、日本海側では平年に比べて少ない見込みで、ゲレンデによっては積雪が増えにくいところもありそうです。1月下旬から2月は、冬型の気圧配置となり、積雪量が増え、お出かけにはオススメです。3月下旬になると、暖かくなり、雪解けが徐々に進みそうです。

* シーズン本格化時期は、降雪傾向に基づくもので、スキー場のオープン時期とは異なる場合があります。